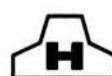


美しい山河を守る

災害復旧基本方針準拠

美 山

- bisan -



共和コンクリート工業株式会社

製品開発の背景

平成26年3月に「美しい山河を守る災害復旧基本方針」が改定され、「多自然川づくりポイントブックⅢ」などの知見が反映されました。その中で護岸工法の工種別に、河川景観および自然環境に関する具体的な留意事項が示されました。そこで、護岸ブロックに関する留意事項を念頭に置き、河川景観機能を満たす製品開発を行いました。

護岸ブロックの河川景観に関する具体的な留意事項

● 法面の明度

護岸が露出する場合には、法面の明度は6以下を目安とする。

⇒ (公社)全国土木コンクリートブロック協会の明度証明書を取得した結果、

美山-R（割肌）の平均明度は6.0以下を満足している。

● テクスチャーを持たせる。

護岸が露出する場合、護岸の素材に適度なテクスチャーを持たせる。

⇒ 自然石のテクスチャーをそのまま転写し、表面に自然石の細かい凹凸を表現した。

● 表面の景観パターンに気を付ける。

護岸に使われるブロックの形やサイズ、積み方、目地などによる景観パターンが、周辺の景観やその場の特性と調和していること。

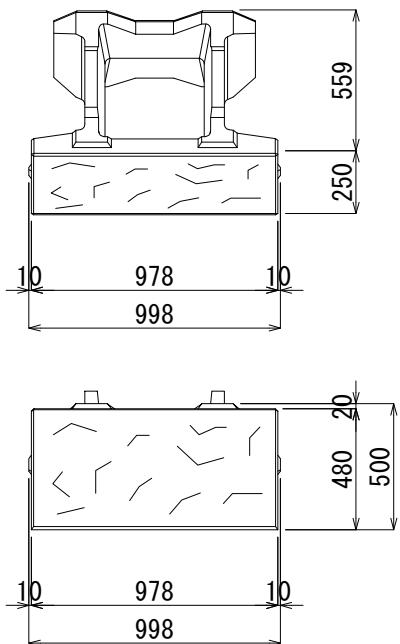
⇒ 忌避される景観パターンを避け、布積とした。

外観写真



びさん
美山R（割肌）

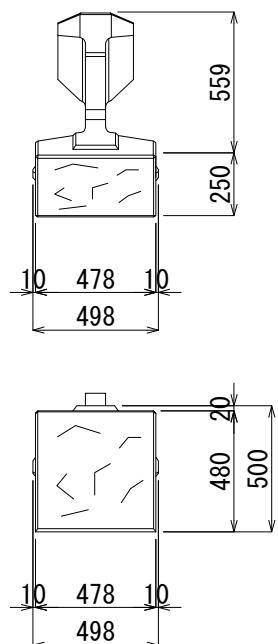
A形



規格諸元

主要部寸法 (mm)	体積 (m ³)	参考質量 (kg)	胴込め量 (m ³)
998×559×500	0.0877	201	0.199
(0.356m ³ /m ²)			

B形



規格諸元

主要部寸法 (mm)	体積 (m ³)	参考質量 (kg)	胴込め量 (m ³)
498×559×500	0.0477	109	0.098

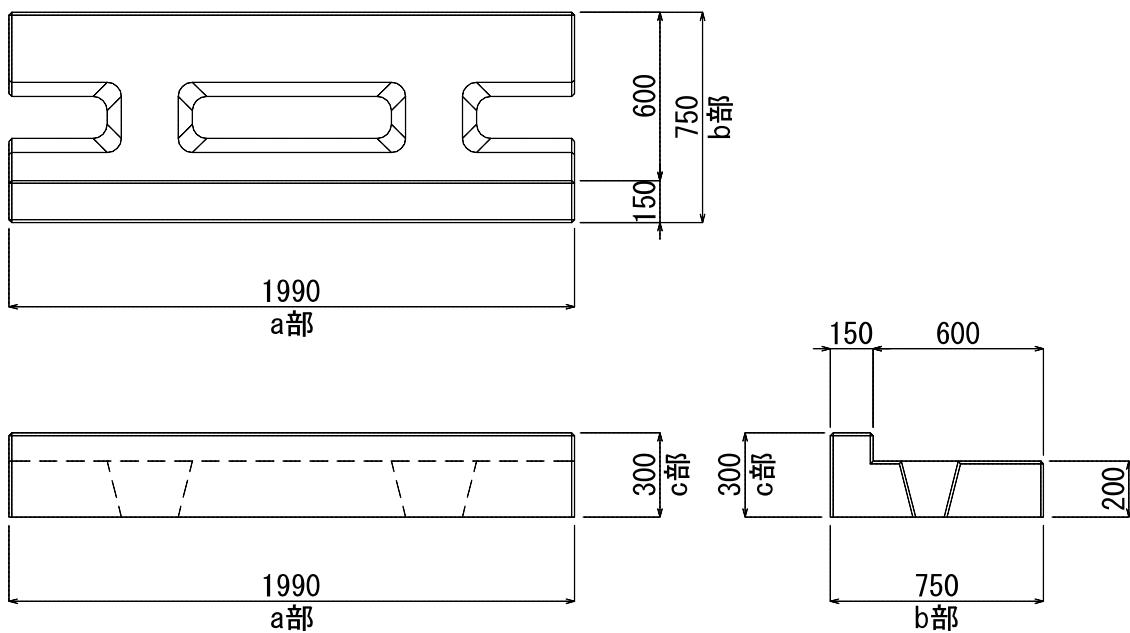
製品規格図

製品名

積水平基礎50A(L1990×H300×B750)

参考重量

618 kg

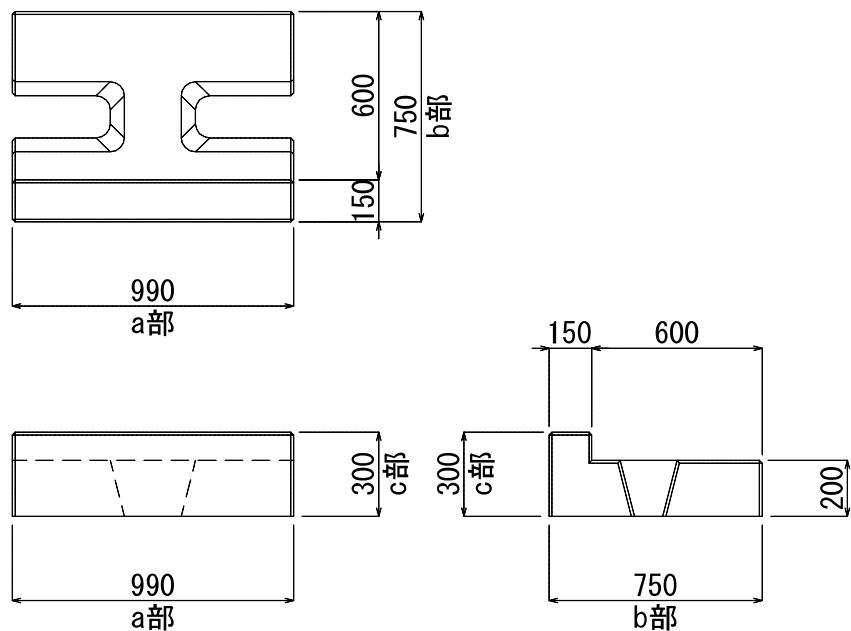


箇所	寸法許容差(mm)
a部	±5
b部	±5
c部	+10 -5

製品規格図

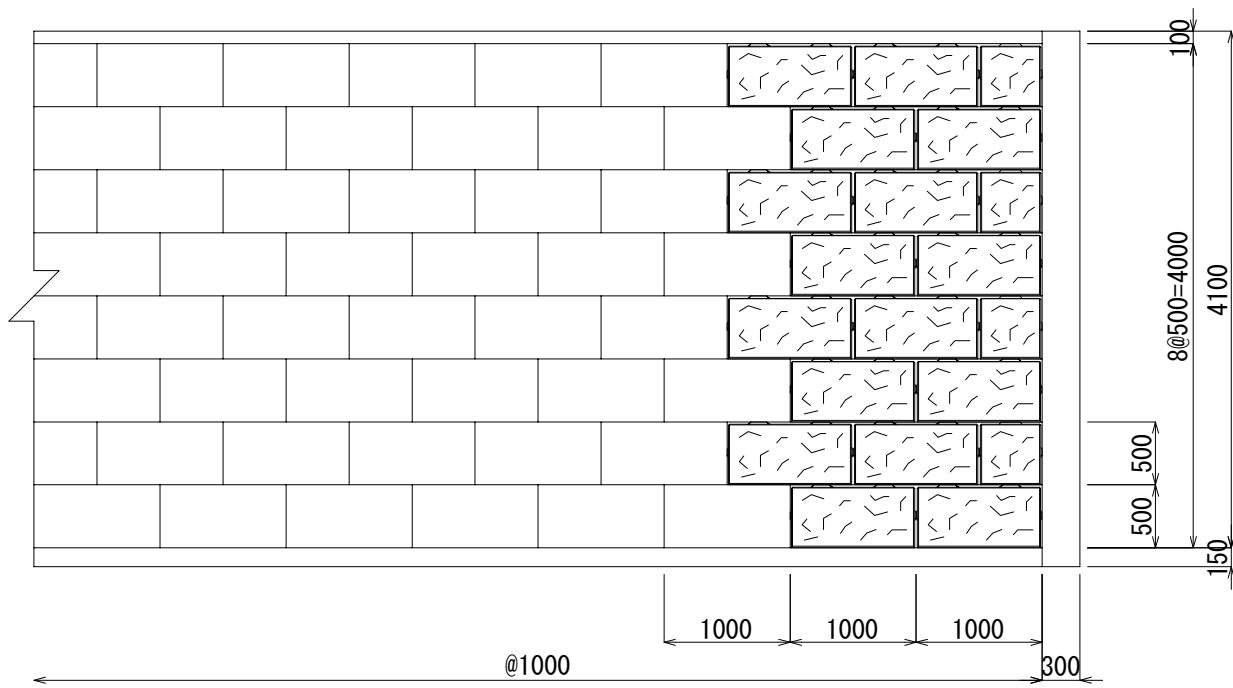
製品名 積水平基礎50B(L990×H300×B750)

参考重量 307 kg

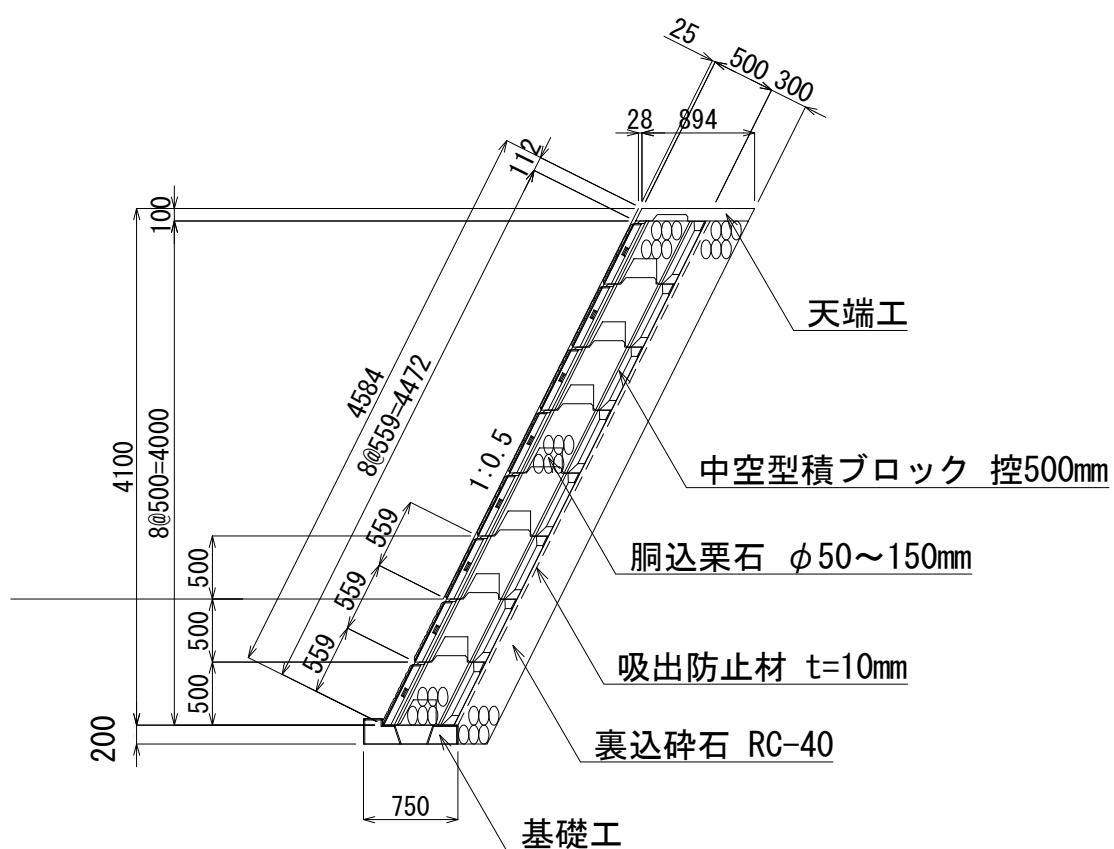


箇所	寸法許容差(mm)
a部	±5
b部	±5
c部	+10 -5

正面図



断面図



美山R 施工写真

水見市役所

国災26年第45号新川河川災害復旧工事

水見市島尾地内

施工期間 H27/02/16～H27/11/30



P1100933



中詰め栗石の投入
(φ50～150mm内外)

吸出防止材設置

P1100972



P1110048



割肌模様

P1110061